

第20回 理科サロン

いのち 生命の活動を化学と物理で知る



京都大学大学院理学研究科 教授

寺嶋 正秀 先生

生命は不思議の塊であり、それを分子のレベルで理解することは今日の科学のフロンティアと言えます。その仕組みは、想像を遙かに超える複雑さであり、ともすれば「自然の神秘」で片づけたくなりますが、一つ一つ解き明かしていくとそこには化学や物理の規則に厳密に従っている「化学反応」があります。最近の多くの科学者による研究の積み重ねによって、命の営みをつかさどる精緻で美しい分子や、その組織化された反応のメカニズムが徐々に明らかになってきました。それらの研究は、命の営みそのものを解明すると同時に、医療や製薬、農業や食品の分野にも多くの応用を見出しつつあります。

今回は、「光」を用いて生命の不思議がどのように解明されてきたか、その歴史や、分かってきた事柄、そして、これから明らかになりそうな分野についてお話しします。

(*寺嶋先生は、光を用いた生命現象の解明において、日本を代表する研究者です。)

日時：7月10日(金)

午後6時～8時 サロン

午後6時半までは寺嶋先生

を囲んで夕食(*)

場所：けやきの会事務所

豊中市千里園2-1-37

(電話 06-6857-2562)

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。

飲み物は用意しています。また、

時間ぎりぎりになられる方のために

軽食を用意しています。

